

West Breeze

Hiroshima City University's founding principle is to become an international university which contributes to world peace and to the prosperity of the community through education and research in science and art.



No.
096
Aug.
2025

広島市立大学
広報誌



Clubs & Circles 紹介 いちレボの学生がクラブ・サークルの魅力伝えます。

上田宗箇流茶道部

上田宗箇流茶道部は市大の中で最も古い課外活動団体で、創立当初から茶室が設けられていました。茶道にはさまざまな流派がありますが、上田宗箇流の特徴として、性別により異なる所作や“凛とした美しさ”を感じることできる洗練された所作が挙げられます。普段は週に1回部員が集まって茶室でお茶会の練習をしています。

茶道具は、戦国時代に武士の間で献上品としてもてはやされていたそうですが、同部では、夏に宮島で茶碗を手作りするなど、思い入れを持って茶道具を扱っています。作った茶碗はお茶会で使用しています。大学祭での茶会や「七夕茶会」などの定例的なもののほかに、マツ

ダスタジウムで開かれる「カーブ茶会」にも参加しています。「カーブ茶会」は広島各大学にある上田宗箇流茶道部の部員が集まり、来場された方々に点前を披露した後、試合を観戦するので、カーブファンの方にもおすすめです。

茶道と聞くと敷居が高く感じるかもしれませんが、丁寧に教えてもらえるので初心者の方でも楽しんで活動できそうです。広島の魅力が詰まった上田宗箇流茶道部に、ぜひ立ち寄ってみてください。

(取材/芸術学部2年 吉田梨乃・国際学部2年 上嶋美優)

【基本情報】
部員数/5名
活動日時・場所/月曜日 17~20時、学生会館2階和室



連絡先
Instagram
@ichi_ueda



◀手作りした茶碗



この記事は、学生広報クルー「いちレボ」の学生が一日体験入部をし、執筆しました。



取材の様子はこちら
@ichidai_ichirepo

2025年度学年暦 後期(10月1日~3月31日)

10月 1日(水)	秋季入学式・後期授業開始
15日(水)	月曜日の授業実施
16日(木) — 20日(月)	後期履修確認期間
25日(土)	ホームカミングデー
25日(土) — 26日(日)	大学祭
11月 6日(木)	月曜日の授業実施
21日(金) — 27日(木)	第3ターム試験期間
24日(月・振替休日)	月曜日の授業実施
12月27日(土) — 1月 4日(日)	冬季休業
1月27日(火) — 2月 5日(木)	後期定期試験
2月 6日(金) — 3月31日(火)	学年末休業
3月23日(月)	春季卒業式

ICHIDAI NEWS

最新の
いちだいニュース



入試情報



大学案内



West Breezeについての
ご意見やご感想はこちらへ

広島市立大学 広報委員会
E-mail kikaku@m.hiroshima-cu.ac.jp
Tel 082 (830) 1666 Fax 082 (830) 1656



West Breezeの最新号・バックナンバーはウェブサイトからご覧いただけます。

広島市立大学広報誌のタイトル「West Breeze」は、広島市立大学のある西風新都にちなんで命名されました。
[West Breeze 96号] 編集・発行/広島市立大学 広報委員会 発行日/2025年8月1日

表紙作品

2024年度
芸術学部デザイン工芸学科 (映像メディア造形分野) 卒業
影山 晴也
「鮮やかな日々」
アニメーション
2分10秒
2024年度 卒業制作優秀賞

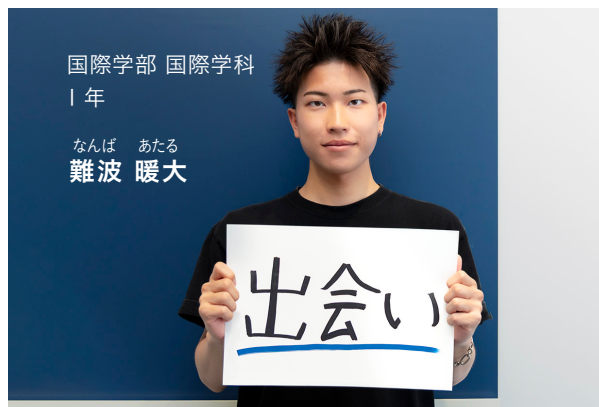


作品動画はこちら
QRコード

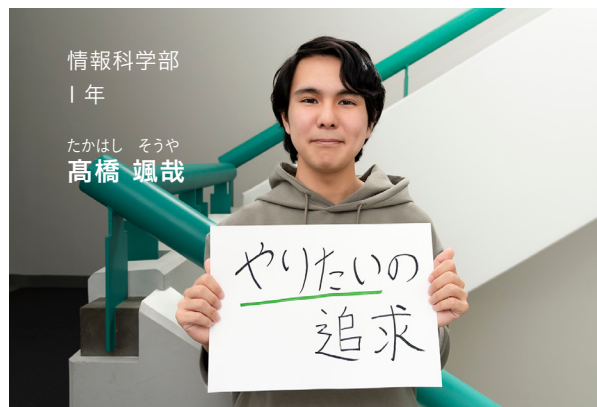
〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号
Tel 082 (830) 1500 (代) Fax 082 (830) 1656
https://www.hiroshima-cu.ac.jp/

市大を志望する皆さんへ

市大に入学したい！
という思いを実現させ、
次の目標へ一歩踏み出した
先輩たちから、応援メッセージ。



国際学部 国際学科
1年
なんば あたる
難波 暖大



情報科学部
1年
たかはし そうや
高橋 颯哉



芸術学部 美術学科
1年
あさづま みつき
朝妻 美月

世界で活躍する自分に

国際学部は、特色ある5つのプログラムや豊富な第二外国語などの強みがありますが、私が推したいのは、学生数に対して先生の数が多いことや、少人数制のゼミで先生方と密に議論しあい相談できる環境が整っていることです。また、留学生、外国人の先生方との交流や充実した留学制度によって、より実践的に国際的な視点を育むことができます。

受験勉強においては、自分だけのパターンを作っておくことをおすすめします。国際学部の入試問題は、国際問題や社会科学に関する問題を組み合わせたものが多いです。総合問題の場合は、とにかく過去問や似通った問題など多くの量をこなすことによって、自分の中で論の展開の仕方やキーワードなどのパターンを作っておくことが大切です。

最後に、継続することは難しいですが、それができれば結果は自然とついてきます。必ずしも明確な目標や夢がなくても、この先大学生活などにおいて、多くの人に出会い、自分が思う以上に新たな自分や考え方の発見があると思います。気負い過ぎずに柔軟な視点を持って、未来へ向かって最後まで頑張ってください。

新しいことを知る・学ぶ

私は、高校で農業という分野を学び、新しい夢を持つようになりました。新しい農業の形である「スマート農業」を知り興味を持ちました。スマート農業とは、情報の分野を農業に組み込んだものです。そこで私は広島市立大学主催の「高校生による情報科学自由研究」に参加し、情報通信技術を使った農業について新たな学びを得るとともに、この広島市立大学で学びたいと考えるようになりました。

この経験を踏まえて、これから受験をする皆さんが進路で悩んでいるなら、ぜひやってみてほしいことがあります。それは、オープンキャンパスや大学が開催している公開講座に積極的に参加してみることです。新しいことを知るきっかけになるだけでなく、大学の雰囲気や特色を肌で感じることができるからです。そして、その体験を通じて、将来やりたいことを考え、何を学ぶ必要があるのか、どこならそれにつながるのかを考える手掛かりにしてください。

きっと悩むことも増え、大変な時期になってくると思います。それでも、さまざまな体験を通じて「やりたいこと」を見つけてください。皆さんがよい学生生活を送れるように、応援しています。

苦手を自信に変えていく

今、受験対策が上手くいっていなかったり、描くことに行き詰まっているという方もいると思います。私も人物画が苦手で、描くことは好きでも行き詰まったり、投げ出したくなるときがありました。そのときは、描くだけではなく、画集を見たり、美術館に足を運んでみたり、日常にあるものの中からヒントを得たりして、自分が「いいな!」と感じるものを探していました。

広島市立大学では、カリキュラムに人物を描く授業があったり、夏には人体の構造について学べる美術解剖学の集中講義があります。私は高校生や予備校生の時、人物を描く機会が減多になかったため、苦手だった人物画をこの大学でどう描けるようになるか、楽しみにしていました。気付いたことを生かしながら考え、一つ一つ研究し、工夫を重ねることで新しい発見があります。作品を見ることや実験を繰り返して「好き」を増やして強みに変えていくことは、大学入学後のモチベーションにもつながっていくはずです。

これから多くの山を乗り越えていかなければならない時期ですが、皆さんの目指す場所にたどり着けることを願っております!



活躍する市大人

在学生、卒業生を問わず、国内外のさまざまな分野で活躍する「市大人」を紹介します。

流れに身をまかせてきたが、流れる水は腐らないともいう



彫刻家・公益財団法人ポエック里海財団
文化芸術および里海環境保護担当

おみ だいすけ
尾身 大輔 さん

芸術学研究科（博士前期課程）造形芸術専攻 2016 年度修了

広島県三原市の離島、小佐木島に移住し、彫刻家として作家活動を行う尾身大輔さんにお話を伺いました。

ー現在の主な活動内容について教えてください。

公益財団法人ポエック里海財団の文化芸術担当および里海環境保護担当として、小佐木島（広島県三原市）で生活しながら、島にある財団所有のギャラリーの管理や受付、島の環境整備に従事し、また、自身も作家として作品制作や展示などを行っています。

ー作家になるまで、どのような道をたどったのでしょうか。

もともと物作りが好きで工芸科のある高校を受験するつもりだったのですが、中学の美術の先生に美術科の受験を提案されました。進学の際、何か物作りができるのは彫刻コースだろうと思って彫刻を選び、大学進学の際も彫刻専攻のある大学を探して、出身地の香川県からそう遠くない広島市立大学を進学先を選びました。明確に作家になろうと考えたことはなかったのですが、大学に進学して作品制作が生活の一部になり、それが楽しいので続けているうちに今に至ります。

ー作品制作に取り組むのに、市大はどのような環境でしたか。

市大にある工房は集中して作業できる場所です。設備や道具類も充実しているので、作品制作にとても良い環境だと思います。大学にあるさまざまな設備や道具に慣れておくと、その後の作品制作にも役立つと思います。

ー市大時代の学びや取り組みで、特に良かったことや今の制作活動に生かされていることはありますか。

大学で学んださまざまな素材やそれらの扱い、道具の準備や使い方・手入れ、制作方法や手順などといった基礎的な知識や技術は、やはり作品制作の根幹をなすものなので、今でも変わらず生かされています。また、意識して取り組んだことではないのですが、作品作りでも、手慰みでも、なんでもいいので何かを作り続けたことです。作業自体に慣れましたし、技術や作業スピードの向上にもつながりました。



木彫作品「ヒトクサヤドカリ」

それから、香川県での「小豆島アートプロジェクト」に参加したことも大きかったです。このプロジェクトに毎年継続して参加したことで「瀬戸内国際芸術祭」に出展する機会につながり、そこからさらに今の作家活動にもつながったように思います。

ー現在の制作活動において、意識していることや心がけていることを教えてください。

物作りそれ自体を楽しむこと、自分にとっても面白い作品を作ることを第一に、活動しています。自分が楽しい、面白いと思うエンタメであるなら、作品を見てくれた人の中にもきっと同じように感じてくれる人もいだろうと思っています。

ー作品のテーマやモチーフはどのようにして決めるのですか。

特にこれといって決まった方法はありません。たまたまある生き物を見て作りたいと思ったとか、訪れた先の土地に関係があるからとか、ある展示場所を見てふと思い浮かんだなど、直感が先行することが多いでしょうか。直感のイメージから出発して、イメージにあるこの生き物はどういう存在なのか考えたり、その生き物について調べたりして、テーマやコンセプトを固めていくことがほとんどです。



作品を設置する様子

ー今後の活動予定や目標を教えてください。

今後の目標としては、コンスタントに作品制作を行うのはもちろんですが、ポエック里海財団文化芸術担当および里海環境保護担当として、拠点である小佐木島で制作した作品を島内に設置し、景色に彩りを加えたり、島内で個展を開催するなど、島の活性化につながるような活動も行っていきたいと思います。

ー後輩たちへメッセージをお願いします。

学生のうちに、作品制作を「ひとまずやり切る」という経験をしたほうがいいと思います。課題で作るものでも、それ以外のものでも、なんでもいいので、自分の中で「完成」と思える作品制作を経験しておく、今の自分の可能性と限界が分かったり、制作期間などを感覚的につかめるようになったりして、今後の作品制作に役立つでしょう。

作品制作は体力勝負です。彫刻などは肉体労働ですし、時間もかかります。授業や課題、バイトや部活などもあり、なかなか大変だとは思いますが、それらを乗り越えて有意義な学生生活を送ってほしいと思います。



尾身さんが参加する「瀬戸内国際芸術祭 2025」の詳細はこちらから

<https://setouchi-artfest.jp/>



ドイツ国内旅行で訪れたケルン

（ドイツ）ハノーバー専科大学

人とのつながりを大切に、国際交流を楽しむ

国際学部国際学科 4 年

ふじもと あやな
藤本 彩奈

国際学部国際学科 4 年
ふじもと あやな
藤本 彩奈

ドイツ国内旅行で訪れたケルン

ドイツ国内旅行で訪れたケルン



寮で国際料理パーティーを開催



授業で行ったグループワーク

にしていきたいです。

私は本学の交換留学制度を利用してドイツのハノーバー専科大学に留学しました。留学を決めた理由は、本学で学ぶ中でヨーロッパの労働環境や働き方に関心を持つようになり、実際に現地で働くことを通じて実態を知りたいと考えたからです。

留学先では、ドイツ語やビジネスに関する授業を履修し、多様な国籍の学生たちと学びました。授業ではグループワークやアウトプットの時間が多く、教授や学生との交流を楽しむことができました。特に、Eコマースマーケティングの授業でスペイン、トルコ、韓国出身の留学生と行ったグループ発表が強く印象に残っています。また、授業で親交を深めた留学生の友人と、ドイツ国内外を旅行したのもいい思い出です。

そして、留学の目的である労働環境や働き方の調査をするため、現地の NPO 法人でインターン生として働く経験もしました。3 か月間で 4 つのオフィス



熱帯の自然に囲まれたキャンパス

（タイ）シラパコーン大学

タイで見つけた自分軸

国際学部国際学科 4 年

かたやま はな
片山 華

私は約 5 か月間、タイのシラパコーン大学に交換留学しました。タイの文化や言語に興味があり、この大学を選びました。シラパコーン大学は美術や考古学に強みを持つ大学で、キャンパス全体にクリエイティブな雰囲気が漂っていました。熱帯ならではの自然に囲まれてのびのびと学ぶことができました。

私は本学の交換留学制度を利用してタイのシラパコーン大学に留学しました。留学を決めた理由は、本学で学ぶ中でヨーロッパの労働環境や働き方に関心を持つようになり、実際に現地で働くことを通じて実態を知りたいと考えたからです。

留学先では、タイ語やビジネスに関する授業を履修し、多様な国籍の学生たちと学びました。授業ではグループワークやアウトプットの時間が多く、教授や学生との交流を楽しむことができました。特に、Eコマースマーケティングの授業でスペイン、トルコ、韓国出身の留学生と行ったグループ発表が強く印象に残っています。また、授業で親交を深めた留学生の友人と、タイ国内外を旅行したのもいい思い出です。

そして、留学の目的である労働環境や働き方の調査をするため、現地の NPO 法人でインターン生として働く経験もしました。3 か月間で 4 つのオフィス



現地の友人と訪れたワット・プラバトムチューディー



大学のクリスマスパーティーにて

留学体験記

本学では海外学術交流協定大学との活発な交流・学生交換留学を推進しています。留学を終えた 2 人から、体験記を寄せてもらいました。

いちレポがゆく！

市大生のとある一日の

授業スケジュールを調査！

今回は国際学部、情報科学部、芸術学部の2年生を対象に調査した一日のスケジュールを紹介していきます！

	国際学部 Kさん	情報科学部 Mさん	芸術学部 Mさん
1限 9:00～10:30	第二外国語	空きコマ	空きコマ
2限 10:40～12:10	第二外国語は9つの言語から選択して学ぶことができます	確率統計	絵画論
3限 13:00～14:30	発展演習	情報科学基礎実験	実習
4限 14:40～16:10	日本語学	情報科学基礎実験	実習
5限 16:20～17:50	空き	プログラミング実践や実験結果の分析をしています	空き
6限 18:00～19:30	空きコマ	空きコマ	空きコマ

K

国際学部Kさん

M

情報科学部Mさん

M

芸術学部Mさん

言語に関心があるので、第二外国語や日本語の授業に積極的に取り組んでいます！また、発展演習の授業では少人数制でディスカッションをすることで、3年生からのゼミに備えています。

必修科目が3コマ入っています。2限の「確率統計」は、1年次に分けられたクラスで受講しています。3・4限の実験の授業では、実践的な学びを通して知識を深めています。

ほぼ毎日、午後から実習が入っています。そのため、座学は1・2限に履修することが多いです。空き時間や放課後も課題や作品制作に取り組んでいるので、一日のほとんどを工房で過ごしています。

まとめ

調査してみると、各学部で受講している授業に特徴があって面白かったです！市大には自分の興味や目標に合わせて専門的に学ぶことができるさまざまな授業があります。将来やりたいことが決まっている人もそうでない人も、市大で将来の可能性を探してみませんか？

この記事は、学生の目線から本学の魅力を発信することを目的に活動している、学生広報クルー「いちレポ」の広報誌班が作成しました。

YouTube

Instagram

編集統括・デザイン:芸術学部3年・高橋 南帆、ライティング:国際学部4年・金井 英季・国際学部4年・菅原 彩月、企画:いちレポ、広報誌班